



# 建築物総合環境計画概要書 新築

使用評価マニュアル: CASBEE 大阪みらい 新築 (2012年版) 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2012年版 CASBEE-NCb\_2010 (v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	岩崎南地区新PR拠点新築工事		
建設地	西区千代崎3丁目		
建築用途	展示施設		
建築主	大阪ガス株式会社、株式会社アーバネックス、株式会社オーゾースポーツ		
設計者	株式会社安井建築設計事務所		
敷地面積	3,866.85 m <sup>2</sup>		
建築面積	2,965.55 m <sup>2</sup>		
延床面積	10,377.74 m <sup>2</sup>		
構造/階段	S造 / 地上5F		
竣工年(予定)	2014年3月		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

★★★★★ **S** BEE 3.9

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★★★★☆

標準計算: 建設, 修繕・更新・解体, 運用, オンサイト, オフサイト

参照値: 100%

建築物の取組み: 78%

上記+ 以外のオンサイト手法: 78%

上記+ オフサイト手法: 78%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

ラベル表示: **有**

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 4.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 4.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>建築計画と協調した適切な建物配置や外装計画により負荷抑制を行う。また、自然エネルギーを利用した省CO<sub>2</sub>技術を採用し環境性能の向上を図る。再生可能エネルギーや自立・分散型電源(コージェネ)の設置、地冷プラントによる周辺建物との熱融通を実施し、BEMSによる最適運用を図る。</p> <p>また、これらの取り組みにより国土交通省の住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業に採択された。</p>	
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>内装材については全てF 材料の利用+VOC対策を徹底</li> <li>外気処理空調機におけるCO<sub>2</sub>制御の採用</li> <li>外壁開口部の遮音性能にも配慮</li> </ul>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>内装展示計画についても環境性を前面にアピールするデザイン</li> <li>十分なバックヤードの設置</li> <li>メンテナンス性に配慮した高耐久材料の選定</li> <li>設備の更新性に配慮した内装計画</li> <li>雨水利用システムの採用</li> </ul>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽熱利用、太陽光発電、地中熱利用システムによる自然エネルギーの有効利用</li> <li>高効率機器の採用</li> </ul>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生材料や有害物質を含まない材料の利用によるエコ建築</li> <li>不活性ガス消火の採用</li> <li>再生可能なユニット部材の利用</li> </ul>
	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドームに通じる岩崎地区の玄関口としてふさわしい賑わいあふれる外観デザイン</li> <li>ドームから大正橋まで通じるデッキ空間による災害時の防災動線の確保</li> <li>大阪ガス発祥の地である記念碑の移設による地域の歴史性の継承</li> <li>緑地面積、デッキ空間による敷地内の温熱環境の向上</li> </ul>
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>十分な駐輪場、駐車場の確保</li> <li>ごみ処理設備の設置、分別可能なゴミ箱の設置および一般ごみ排出量の推量を実施</li> <li>光害に対しても照明計画の専門家による調整</li> </ul>